

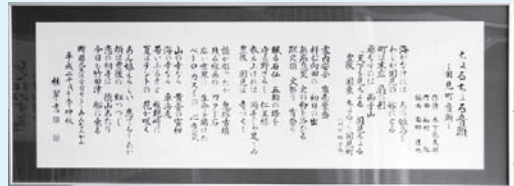
# まちの話 題

## 青山映信さん「ちよるちよる音頭」の額を寄贈 12月1日(月)

国見公民大学伊美・櫛海両書道教室で講師を務める青山映信さん(豊後高田市夷)から、自ら書いた「ちよるちよる音頭」の歌詞の額を、国見生涯学習センターみんなんかんに寄贈していただきました。

この書は、大分市のアートプラザで開催された個展に出展されたもので、210センチ×60センチ、みんなんかん1階ロビーに展示されています。

青山映信さん▶



## 保育園児が餅つきで老人クラブと交流 12月17日(水)・国東町 南部保育園

この餅つきは、同園が行っている世代間交流の一環で、興導寺老人クラブ(石丸義則会長)の皆さんと一緒に正月前に行われています。

今回は、千本杵を使った餅つきを体験。おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に「よいしょ!よいしょ!」と餅つきを楽しんだ子どもたちは、つきたてのお餅をおいしそうにほおばっていました。

みんなで息を合わせて、千本杵を使って餅つきに挑戦▶



## 子ども教室でしめ縄づくりに挑戦!

12月10日(水)・武蔵中央公民館

青少年健全育成市民会議武蔵支部主催の教室には、武蔵町内の小学生58人が参加。お正月に家で飾るしめ縄を、藁の状態から編んで作りました。

低学年の子も指導者のおじいちゃん・おばあちゃんに手伝ってもらいながら、立派なしめ縄飾りができました。

2月の教室では、今回の経験を活かして「わらじ」を作る予定です。



## 観光ボランティアガイド養成講習会

国東市観光協会主催のこの講習会は、昨年5月から月1回のペースで開催され、現在10人の受講生が市内の観光名所を実際に巡りながら実地研修を行っています。

今後は、ガイドの仕方の講座や豊後高田市での研修等を予定しており、受講生の皆さんは『観光ボランティアガイド』として、国東市を訪れる観光客に国東の魅力を伝えたいと研修に励んでいます。



大聖寺跡五輪塔群(国東町来浦)で研修する受講生の皆さん▲